令和3年度 シラバス

教科	理科	科目	生物基礎	学 年	第2学年	学 科 類 型	普通科文系
単位数	2 単位	教科書	改訂版 生物基础	楚(数研出	出版)		
副教材	五訂版スクエア最新図説生物neo(第一学習社) 三訂版リードLightノート生物基礎(数研出版)						

学習目標

すべての生物は、細胞と呼ばれるものから作られています。授業では、まずは細胞の特徴や働きを学び、そこから生物の設計図である遺伝子につなげます。さらには生物の内的環境と外的環境にも目を向け、生物が日常的に行っている様々な反応について広く学習します。

キャリア 教育の視点 生物基礎では生物や生物現象についての観察,実験を行い,自然に対する関心や探究心を 深め,生物に対する総合的な見方や考え方を養います。

自分の知らなかったことや世界に出会い、自分の視野を広げることができます。

		学習計画及び内容			
	4月	第1章 生物の特徴	生物は多様でありながら共通性を持っ	考 査	
1		1 生物の多様性と共通性	ていることを理解し、細胞及び生物の構		
	5月	2 エネルギーと代謝	造、働きについて学びます。	中間考査	
学		3 光合成と呼吸			
	6月	第2章 遺伝子とそのはたらき	遺伝情報を担う物質としての DNA の特		
期		1 遺伝情報とDNA	徴について学びます。DNA が複製され,	期末考査	
	7月	2 遺伝情報の発現	遺伝情報が伝えられること,DNA の情報		
		3 遺伝情報の分配	に基づいてタンパク質が合成されること		
			を学びます。		
	8月	第3章 生物の体内環境	体内環境の維持に自律神経とホルモン		
	_	1 体内環境としての体液	が関わっていることを学びます。さら		
2	9月	2 腎臓と肝臓による調節	に、免疫とそれに関わる物質や細胞の働		
		3 神経とホルモンによる調節	きについて学びます。	t ee ta ta	
学	10月	4 免疫		中間考査	
11- 11		第4章 植生の多様性と分布	陸上には様々な植生が見られ、植生は		
期	11月	1 植生とその成り立ち	長期的に移り変わっていくこと、様々な	#n 	
	10 🗆	2 植生の遷移	バイオームが成立していることを学びま	期末考査	
	12月	3 気候とバイオーム	す。		
3	1月	笠 5 音 上能変 しるの保合	 生態系のバランスについての理解と生		
3	1 月	第5章 生態系とその保全 1 生態系とその成り立ち	生態系のハランスについての理解と生 態系保全の重要性を学びます。		
学	2月	2 物質循環とエネルギーの流れ	咫尔 木土*ソ里安 江で 子 U`ま y 。 		
十	4万	3 生態系のバランスと保全		学年末考査	
期	3月	生物基礎の復習		十十八万里	
791	υд	工物金融等人及目			
\Box					

学 授業で教科書の内容を理解し、その後実験を行ったり図表を活用したりすることによって、自分の習 目で見て確認してください。また、問題演習によって知識の定着を図ってください。の 3年生での進路選択及び科目選択を考え、学習を進めていきますので、予習・復習等を計画性を持方ってしっかり学習に取り組んでいきましょう。 法

仕方

備考